

平成28年度 公共交通勉強会

公共交通を取り巻く環境は、自動車交通の普及や超高齢社会の到来など、様々な要因が複合的に重なり合う大変厳しい状況にあり、行政や交通事業者が単独で対応するには限界があります。

そこで、県では、公共交通を取り巻く諸課題の解決に向け、地域公共交通を担う人材の育成などを目的とし、行政及び事業者を対象とした勉強会を開催しています。

平成28年度は、地域公共交通に係る基礎知識の習得、行政と交通事業者相互間の連携と協働に向け、法律、制度及び取組み事例などに関する講演、ワークショップを行いました。

【主催】 兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課

【共催】 国土交通省近畿運輸局、神戸運輸監理部

【後援】 (公社)兵庫県バス協会、関西鉄道協会、兵庫県生活交通対策地域協議会、阪神都市圏公共交通利用促進会議

参加者数	区分	本編			番外編
		第1回	第2回	第3回	第1回
行政	国	9名	5名	8名	—
	県(事務局含む)	15名	12名	11名	1名
	市 町	54名	24名	39名	10名
事業者	鉄道事業者	2名	4名	8名	—
	バス事業者	43名	24名	23名	—
	タクシー事業者	—	2名	1名	—
	その他	7名	5名	2名	1名
	計	130名	76名	92名	12名
		延べ310名			



第2回公共交通勉強会
(ワークショップ「公共交通の利用促進策」)

本 編

第1回	【日時】	平成28年7月25日(月) 13:00~16:50		
	【場所】	兵庫県農業共済会館		
	【内容】	交通政策基本法及び交通政策基本計画		
		国土交通省近畿運輸局交通政策部交通企画課	課長	北川 健司
		改正活性化再生法など地域公共交通に係る制度の概要		
		国土交通省近畿運輸局交通政策部交通企画課	専門官	稲留 健一郎
		道路運送法の基礎知識		
		国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部	専門官	和田 治
		地域公共交通確保維持改善事業の概要		
		国土交通省近畿運輸局交通政策部交通企画課	係長	中江 努
	国土交通省近畿運輸局交通政策部消費者行政・情報課	課長	清水 俊博	
	複数の事業者と連携したバス利用促進の取組み			
	西日本鉄道株式会社自動車事業本部計画部計画課	係長	池田 舞	

第 2 回	【日時】 平成 28 年 12 月 22 日(木) 13:00～17:15 【場所】 兵庫県農業共済会館 【内容】 <u>「バス旅ひょうご」の取組み (リレートーク)</u> 兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課 主査 芝 和樹 公益社団法人兵庫県バス協会 専務理事 中澤 秀明 神姫バス株式会社バス事業部営業課 課長 山本 修太 本四海峡バス株式会社 常務取締役運輸部長 橋本 哲雄 公益社団法人日本バス協会業務部 参事 佐藤 匡 <u>ワークショップ「公共交通の利用促進策」</u> 大阪大学 CO デザイン・センター 特任教授 土井 勉
-------------	--

第 3 回	【日時】 平成 29 年 3 月 2 日(木) 13:00～16:55 【場所】 兵庫県中央労働センター 【内容】 <u>地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画</u> 国土交通省近畿運輸局交通政策部交通企画課 専門官 稲留 健一郎 <u>豊岡市のインバウンドの取組み</u> 豊岡市環境経済部大交流課 課長補佐 谷口 雄彦 <u>宍粟市の路線バス網拡充の取組み</u> 宍粟市まちづくり推進部市民協働課 副課長兼係長 西嶋 義美 宍粟市健康福祉部障害福祉課 主査 平瀬 弘生
-------------	--

番 外 編

第 1 回	【日時】 平成 28 年 7 月 27 日(水) 13:30～16:00 【場所】 川西市立川西小学校 【内容】 川西市「学校教職員向け社会科教育研修」への参加 交通・環境・まちづくりを題材とした体験的学習プログラム 愛媛大学大学院理工学研究科 教授 松村 暢彦
-------------	--

参 加 者 ア ン ケ ー ト

【選択回答】

区 分	第 1 回	第 2 回	第 3 回
回答総数	80 名	51 名	68 名
勉強会の満足度 (回答の平均)	79.3 点 (うち行政：77.0 点) (うち事業者：82.6 点)	84.7 点 (うち行政：84.8 点) (うち事業者：85.8 点)	82.1 点 (うち行政：82.6 点) (うち事業者：84.2 点)
会場までの交通手段	公共交通：92.4% 車：5.1% 徒歩：2.5%	公共交通：96.1% 車：3.9% 徒歩：0.0%	公共交通：88.2% 車：11.8% 徒歩：0.0%

【自由回答】

- 「ワークショップで様々な角度から物事を捉えることの重要性を改めて感じた」
- 「公共交通の維持に向けたヒントを得ることができた」「国の方針や取組み事例等幅広く学べ、非常に参考になった」
- 「バスや交通だけの観点だけでなく、豊岡市さんのような違った観点から知恵を得たい」
- 「モデルケースをかえたパターンでワークショップをまたやってみたい」
- 「様々な事業者の成功事例、失敗事例を教えていただきたい」